クラス： 名前：

■7つの習慣⑥シナジーを創り出す

今回の内容は「**これまでの習慣を活かし、1+1=2以上の成果を生み出そう」**というものです。

実質、総編集に近いです。

第1の習慣「主体的である」で変えれるのは自分という人格者としての土台を作り

第2の習慣「終わりを思い描くことから始める」で目的を振り返る為の土台を作り

第3の習慣「最優先事項を優先する」で自分にとって本当は何が大事なのかを振り返る為の土台を作り

第4の習慣「Win-Winを考える」で自己中心的ではなく、相手を想う土台を作り

第5の習慣「まず理解に徹し、そして理解される」相手の視点に立つ人格者としての土台を作り

上記を活かして、「**自分1人ではなく、誰かと協力して多くの成果を生み出す**」こと目指します。

■シナジーとは

よく例に出されるのが渡り鳥のエピソードです。

渡り鳥は先頭を行く鳥、体力が無くなり遅れる鳥、遅れている鳥をフォローする鳥

上記のように役割を交代で行うことにより、1匹ではたどり着けない場所へも

複数羽が協力することにより長距離移動を成功させています。

1+1＝２ではなく何倍も成果を生み出す。

これがシナジーになります。

■シナジーを生み出すコミュニケーション

シナジーを生み出すにはコミュニケーションが必要になります。

一方の意見が絶対で、他の意見は否定していては良い意見も出ませんよね。

同様に、誰かが意見するまで全員が黙っていては良い案は出ません。

参加者全員が全員を想いやる、相手を尊重することがとても大事になります。

■妥協を選ばない

お互いに案があり、どちらかが妥協して、片方の案を採用するのではなく、

お互いの案を活かした【第3の案】を考えることが大事です。

第3の案を生み出すためにも上記のような、相手を否定したり、そもそも黙っていては

良い第3の案が生まれることはありません。

お互いがお互いを尊重し、お互いにとって良い方向となるよう考える癖をつけましょう！

■抑止力を乗り越える

第3の案が出ても、必ずストップをかけてくる人がいます。

何故なら人は変化を嫌う生き物だから。。。

経験ありませんか？「これまでそうしてきたらから変えないで」

「そんなことしても何も変わらないよ」「それは理想論だ」「そんなの失敗するに決まってる」

私は言われた経験がありますし、それを言われている光景も見てきました。

負けずに、相手を尊重しながら一歩進む、歩み寄ることを意識しましょう！